



# 丸小だより

令和2年11月30日(月) No. 9

横浜市立丸山台小学校長 新井 篤志

～ 実践目標 自分が輝く みんなも輝く ～

「想像する力」を子どもたちとともに

校長 新井 篤志

丸小フェスタが開かれます。今年は従来とは異なり学年ごとの発表を体育館で行います。子どもたちが自分たちのテーマに向けて調べてきたことを協力して発表し合います。ぜひ子どもたちの取り組む様子を応援していただけたらと思います。

12月4日～10日は人権週間です。本校でも、12月8日～11日を『丸山台小人権週間』として、「だれもが」「安心して」「豊かに」生きるために人権を尊重し差別を許さない児童を育てるために取り組みます。1年生から6年生までそれぞれのテーマのもと自分たちの生活を振り返りどのように過ごしていったらよいのかを考えていきます。そして横浜市では人権週間に合わせて12月は「横浜市いじめ防止啓発月間」として各学校で子ども主体のいじめ防止に向けた活動を計画しています。あいさつ運動など人とのつながりを大切にする活動が行われます。いじめは子どもたちにとって最も身近な人権問題といえます。子どもの心に人権を尊重する精神を育てていくことが何よりも重要です。

先日、本校で行われた丸山台中学校ブロックで人権研修会を開いたときに講師の先生から、この心を育てるために「当たり前」というとらえ方を見直すことを考えてみてはいかがでしょうかという話がありました。「そんなことができるのは当たり前でしょう。」と言われてできないときには子どもは不安に陥ってしまいます。人には当たり前と言われてできることは異なります。自分だけできないと思われる気持ちはつらくなるでしょう。こうしたやりとりがいじめにつながる場合があります。日常生活の中で一人一人が違う思いをもって暮らしていると考えていくことが必要ではないでしょうか。

相手の思いを想像することが、他者の人権を尊重することにつながり、いじめの未然防止につながると考えます。学校や家庭、地域において相手と心を向き合うことが子どもたちのいじめの防止につながると思います。私たち大人も「想像する力」を子どもたちとともに大切にし、相手に寄り添うことを大事にしていきたいと思います。

